

## 7 ~ 9 月期業況も緩慢ながら改善が続く

### 【特別調査 - 地域金融機関との関係について】






















このレポートは、信用金庫が全国 16,000 の中小企業の 2003 年 7 ~ 9 月期の景気の現状と 2003 年 10 ~ 12 月期の見通しを調査したものです。

### 概 況












































































1. 2003 年 7 ~ 9 月期 (今期) の業況判断 D.I. は 33.9 と 4 ~ 6 月期 (前期) 比 4.2 ポイント改善しました。過去 10 年の 7 ~ 9 月期平均では 2.4 ポイント悪化しており、7 ~ 9 月期の改善は前回の景気回復期 (1999 ~ 2000 年) 以来です。前年同期比売上額および同収益判断 D.I. はそれぞれ前期比で 2.7、3.3 ポイント改善し、30.1、30.9 となりました。業種別の業況判断 D.I. は、小売業を除き 5 業種で改善しました。また、水準でも小売業が 48.4 と引き続き最も厳しい数字となっています。

2. 2003 年 10 ~ 12 月期 (来期) の予想業況判断 D.I. は 24.4、今期実績比 9.5 ポイントの改善となっています。今回の改善幅は、過去 10 年の予想値の平均改善幅である 10.4 ポイントとほぼ同程度で、緩やかながら改善が続くと思われます。

### 【業種別天気図】

時期 業種名	2003 年 4 ~ 6 月	2003 年 7 ~ 9 月	2003 年 10 ~ 12 月 (見通し)
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サ-ビ`入			
建 設 業			
不 動 産 業			

### 【地区別天気図 (今期分)】

地 域 業種名	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	北九州	南九州
総 合											
製 造 業											
卸 売 業											
小 売 業											
サ-ビ`入											
建 設 業											
不 動 産 業											

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調



低調

**全業種総合**

回答企業 13,727 企業 (回答率 85.8%)

**景況**

**～ 今期の業況は緩やかな改善傾向 ～**

今期の業況判断 D.I. は 33.9 と前期比 4.2 ポイントの改善となりました。過去 10 年の 7～9 月期は前期比平均 2.4 ポイント悪化しており、7～9 月期の改善は前回の景気回復期 (1999～2000 年) 以来で、厳しい水準ながら改善傾向がうかがわれます。

収益面では、前年同期比の売上額および収益の判断 D.I. が、30.1、30.9 とそれぞれ前期比 2.7、3.3 ポイント改善し、ともに 3 四半期連続で改善しました。また、前期比売上額および同収益判断 D.I. は前期比でそれぞれ 2.2、1.6 ポイント改善し、季節的に悪化する傾向にある 7～9 月期としては前回の景気回復期以来の改善となりました。

販売価格判断 D.I. は 5 四半期連続で 25 前後が続きましたが、今期は前期比 3.9 ポイントマイナス幅が縮小し、21.2 となりました。

設備投資実施企業割合は前期比 0.8 ポイントアップし 18.9% と、2002 年 1～3 月期の 15.9% を底に増加基調が続いています。

資金繰り判断 D.I. は、厳しい水準ながら 24.8、前期比 2.3 ポイント改善しました。雇用面では、人手過不足判断 D.I. が前期の 2.6 から 0.8 と人手不足の状態に転じました。

業種別の業況判断 D.I. は、小売業が 48.4 と前期比 0.7 ポイント悪化しましたが、他の 5 業種はすべて改善しました。改善度合いでは、前期比 10.4 ポイント改善した建設業が最大で、次いで製造業の 5.8 ポイントとなりました。小売業の水準は相変わらず 6 業種中最も厳しく、48.4 となりました。地域別には 11 地域中、東北以外はすべて改善しました。

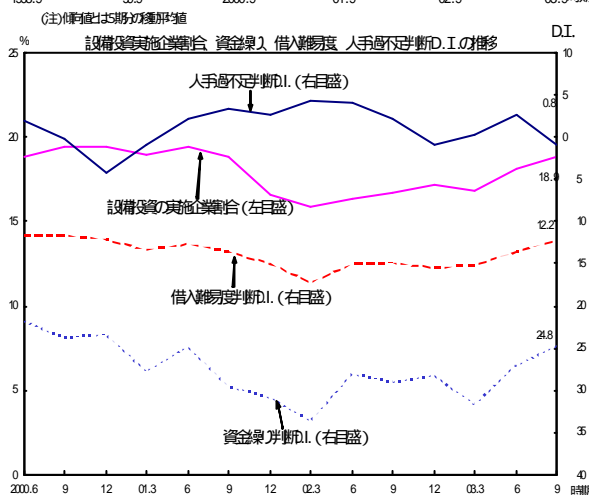
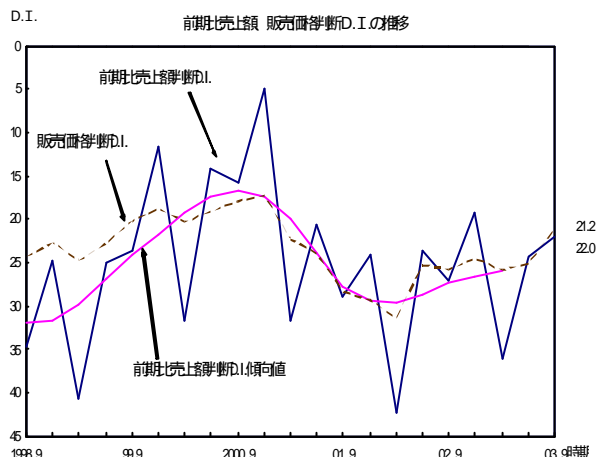
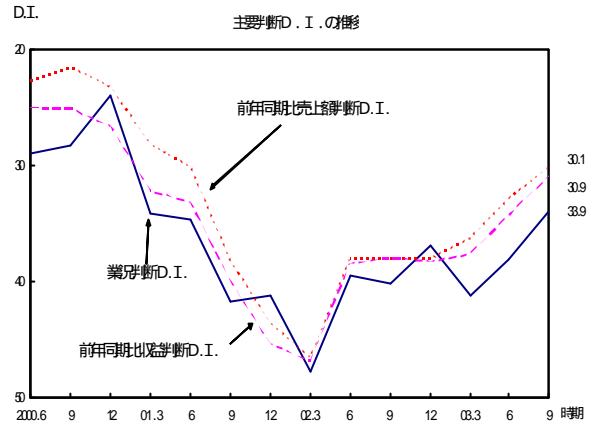
**来期の見通し**

**～ 業況は引き続き改善予想 ～**

来期の予想業況判断 D.I. は 24.4、今期実績比 9.5 ポイントの改善となっています。過去 10 年の 10～12 月期予想業況判断 D.I. は 7～9 月期実績比で平均 10.4 ポイントの改善となっており、ほぼ例年並の改善予想幅となっています。

予想前期比売上額判断 D.I. は 6.8、同収益判断 D.I. は 12.7 とそれぞれ 15.2、13.2 ポイントの改善とほぼ例年並の改善度合いを見込んでいます。

業種別の予想業況判断 D.I. は全業種で改善、地域別も 11 地域すべてで改善となっています。



# 製造業

回答企業 4,971 企業 (回答率 85.7%)

## 景況

### ～業況は2期連続で改善～

今期の業況判断D.I.は 28.1と、前期比 5.8 ポイントマイナス幅が縮小し、2期連続の改善となりました。また、前年同期比売上額および同収益の判断D.I.も、それぞれ、3.9ポイント改善の 21.7、同 4.9ポイント改善の 22.6と、ともに6四半期連続でマイナス幅が縮小しました。

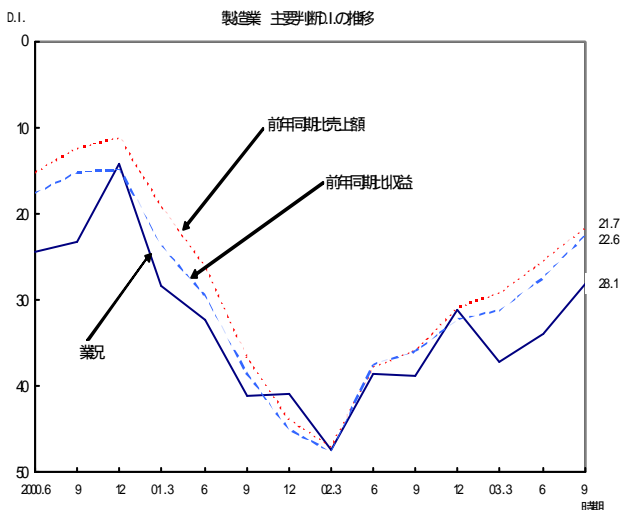
前期比の売上額および同収益判断D.I.でも、それぞれ 2.3、1.9ポイント改善し、16.5、21.2となりました。

### ～設備投資実施企業割合が上昇～

設備投資実施企業割合が前期の 20.5%から 22.1%と、2期連続で上昇しやや動きが出てきました。人手過不足判断D.I.も前期の 3.2から 1.5と3四半期ぶりに人手不足に転じました。また、残業時間判断D.I.は 7.2(前期は 10.8)と、これも3四半期ぶりに残業時間の減少にやや歯止めがかかる形となりました。

販売価格判断D.I.は、価格が下降したとする企業の割合が減少し、前期の 24.0から 19.0とマイナス幅が縮小しました。一方、原材料(仕入)価格判断D.I.はプラス 3.2(前期はプラス 2.4)と、4四半期連続のプラス水準(価格上昇)で、価格が上昇したとする企業の割合も増加傾向にあります。

資金繰り判断D.I.は前期の 26.6から 24.7と、2四半期連続での改善となりました。



## 業種別の状況

### ～一般機械が製造業22業種中最大の改善～

今期の業種別業況判断D.I.は、製造業22業種中、17業種で改善、5業種で悪化となりました。

素材型業種では、4業種で改善、3業種で小幅悪化しました。特に、非鉄金属は前期比 13.4ポイントの大幅な改善となりました。

部品加工型業種では、プラスチックが小幅悪化したものの、金属製品、金属プレスは改善しました。

建設関連型業種は4業種すべてで小幅改善となりました。

機械器具型業種も4業種すべてで改善しました。特に工作機械、工具など一般機械の改善幅が 18.9ポイントと、製造業全22業種中最大となりました。

消費財型業種では、玩具・スポーツが前期比 20ポイント以上の大幅悪化となった以外は改善しました。

業種	D.I. の推移 (前期: 2003年4~6月期, 今期: 2003年7~9月期)									
	70	60	50	40	30	20	10	0	0	0
素材型	繊維									
	化学									
	皮製品									
	ゴム									
	鉄鋼									
	非鉄金属									
部品加工型	紙・パルプ									
	プラスチック									
	金属製品									
建設関連型	金属プレス・メッキ									
	窯業・土石									
	建設建築用金属									
機械器具型	木材・木製品									
	家具・装備品									
	一般機械									
	電気機械									
消費財型	輸送用機器									
	精密機械									
	衣服その他									
全業種平均	食料品									
	玩具・スポーツ									
	出版・印刷									

前期 (2003年4~6月期) 今期 (2003年7~9月期)

## 属性・規模別の状況

### ～大メーカー型・輸出主力型が大幅改善～

販売先形態別の業況判断D.I.は、最終需要家型が 36.8と前期比 3.5ポイントの小幅な悪化となったほかは改善しました。とりわけ、大メーカー型は前期比 12.2ポイントの大幅な改善で 10.5となり、製造業全体の改善をけん引しました。

一方、輸出主力型の業況判断D.I.は 14.6、内需主力型は同じく 28.2 で、それぞれ前期比 12.2 ポイント、同 5.2 ポイントの改善となりました。

従業員規模別の業況判断D.I.は、1~19人で 35.8、20~49人で 19.9、50~99人で 13.2、100人以上で 11.3 となり、いずれも前期比 5~10 ポイント前後の改善となりました。ただ、水準自体は依然として相対的に小規模層ほど厳しい状況が続いています。

### 地域別の状況

#### ~北九州と南九州以外で改善~

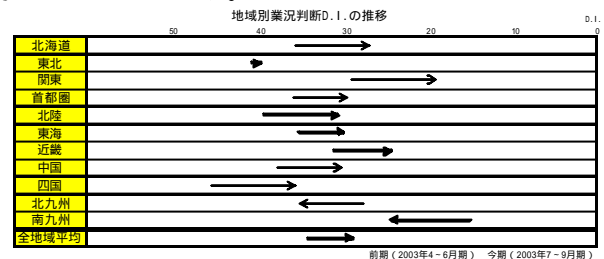
地域別の業況判断D.I.は、北九州と南九州を除く9地域で改善しました。北九州の悪化は3四半期連続です。業況判断D.I.の水準では、今期大幅改善した関東のマイナス幅が 18.5 ともっとも小幅にとどまり、逆に前期比小幅改善にとどまった東北が 38.7 でもっとも厳しい水準となっています。

### 来期の見通し

#### ~業況は大幅改善を見込む~

来期の予想業況判断D.I.は 17.4 と、今期実績に比べ 10.7 ポイントの大幅改善を見込んでいます。また、予想前期比売上額判断D.I.は 0.3、今期実績比 16.2 ポイント、同収益判断D.I.は 7.8、同 13.4 ポイントの、それぞれ改善を見込んでいます。

業種別では一般機械でやや悪化が見込まれている以外はすべて横ばいないしは改善を見込んでいます。一方、地域別にはすべての地域で今期に比べて改善する予想となっています。



## 卸売業

回答企業 1,866 企業 (回答率 81.1%)

### 景況

#### ~業況はわずかに改善~

今期の業況判断D.I.は 36.5 となり、前期比 3.3 ポイントの改善と、2期連続でマイナス幅は縮小しました。ただ、マイナス幅は小売業 (48.4) に次ぐ大きさです。前年同期比判断D.I.では売上額が 31.6、収益は 30.9 となり、前期に比べマイナス幅がそれぞれ 1.1、0.1 ポイント縮小しました。販売価格と資金繰り判断D.I.もそれぞれ 15.3、21.3 と、前期比 3.6、0.8 ポイント改善しました。

### 業種・地域別の状況

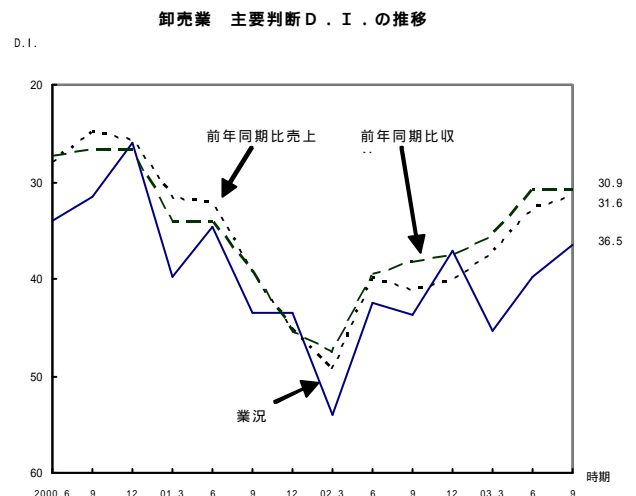
#### ~業況は業種別にはばらつき、地域別は概ね改善~

業種別の業況判断D.I.は貴金属、建材など9業種で改善し、家具、玩具など6業種では悪化と、業種によりばらつきがみられます。一方、地域別では北陸、中国、東北の3地域で小幅ながら悪化しましたが、他の8地域では横ばいまたは改善となり、概ね改善傾向が見られます。

### 来期の見通し

#### ~大幅改善を予想~

来期の予想業況判断D.I.は 23.7 と今期実績比で 12.8 ポイントの大幅な改善となっています。業種別には再生資源を除く 14 業種で改善、また、地域別には全地域で改善を見込んでいます。



## 小売業

回答企業 2,607 企業 (回答率 86.9%)

### 景況

#### ～業況は6業種で唯一の悪化～

今期の業況判断 D.I.は、48.4 で前期比マイナス 0.7 ポイントと、全6業種で唯一悪化しました。前年同期比の売上額、収益の判断 D.I.も、46.8、47.3 とそれぞれ 2.4、2.2 ポイント悪化し、依然厳しい状況が続いています。ただし、販売価格判断 D.I. (上昇・下降) と資金繰り判断 D.I.は、マイナス幅がそれぞれ 1.9、2.6 ポイント縮小しました。

### 業種・地域別の状況

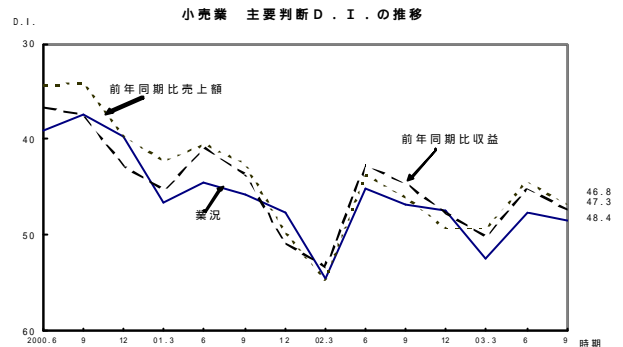
#### ～大半の業種、地域で悪化～

業種別の業況判断 D.I.は、小売業 13 業種中 8 業種で悪化がみられ、中でも玩具、書籍・文房具での悪化が目立っています。地域別では、11 地域中 7 地域で悪化がみられ、特に東北では 9.9 ポイントのやや大きな悪化となっています。

### 来期の見通し

#### ～全業種平均を上回る改善を予想～

来期の予想業況判断 D.I.は、今期実績比で 11.2 ポイント改善の 37.2 を見込んでおり、全業種平均の 9.5 ポイントを上回っています。また、木建材を除くすべての業種と地域で改善を見込んでいます。特に、業種では玩具、地域では関東、四国が大幅な改善予想となっています。



## サービス業

回答企業 1,590 企業 (回答率 88.3%)

### 景況

#### ～業況は改善～

今期の業況判断 D.I.は、前期比 3.0 ポイント改善し 34.0 となりました。水準自体は前年同期 (34.7) とほぼ同じですが、7～9 月期は、例年、前期比で悪化する傾向があるにもかかわらず 99 年以来 4 年ぶりの改善となりました。前年同期比売上額と同収益判断 D.I.は、前期比 4.9、6.3 ポイント改善し 30.1、29.7 となりました。また、料金価格と資金繰り判断 D.I.も同 2.0、2.6 ポイント改善し 15.7、23.9 となりました。

### 業種・地域別の状況

#### ～改善は業種別にばらつき～

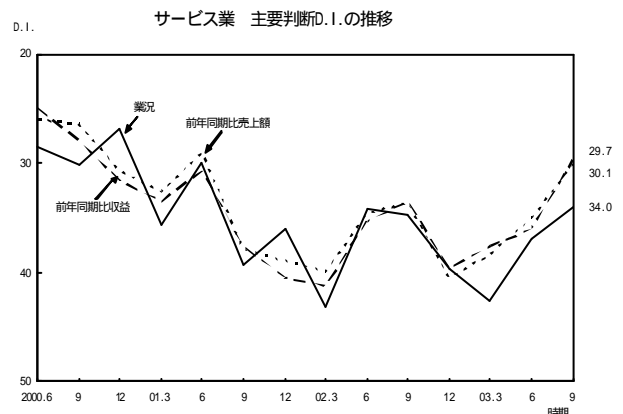
業種別業況判断 D.I.は、前期に比べ 8 業種中物品賃貸業など 4 業種が改善、洗濯・理容・浴場業など 4 業種では悪化し、ばらつきがみられました。

また、地域別では 11 地域中、東北、北陸以外の 9 地域で改善しました。

### 来期の見通し

#### ～業況は大幅な改善を予想～

来期の予想業況判断 D.I.は 25.8 と季節要因もあり今期実績比 8.2 ポイントの大幅な改善を見込んでいます。業種別では、情報・調査・広告業が横ばいの他は全業種で、地域別では北海道、四国以外の全地域で、それぞれ改善を予想しています。





## 建設業

回答企業 1,825 企業 (回答率 86.9%)

### 景況

#### ～業況は6業種で最大の改善幅～

今期の判断D.I.は、業況が31.3と前期比10.4ポイント改善し、6業種中最も改善幅が大きくなりました。また、前年同期比の売上額、同収益の判断D.I.は、31.6、35.0とそれぞれ前期比で5.9、7.4ポイント改善しました。その他の判断D.I.も総じて改善しています。

### 請負先・地域別の状況

#### ～全請負先別・地域で改善～

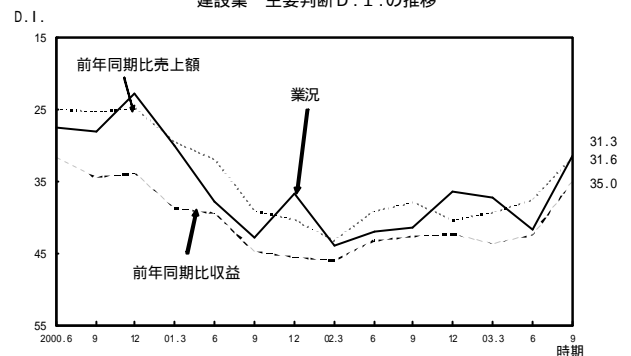
請負先別業況判断D.I.では、すべての請負先で前期比改善となりました。地域別でも、北海道が18.5と前期比25.6ポイントの大幅改善になるなど、すべての地域で改善しています。また、従業員規模別でも、前期に悪化していた5～9人の層も改善に転じるなど、すべての階層で改善しました。

### 来期の見通し

#### ～個人を除き改善を予想～

来期の予想業況判断D.I.は25.8と今期実績比で5.5ポイントの改善となっています。請負先別では個人を除くすべてが、従業員規模別でもすべての階層が改善見込みです。地域別では北海道、北陸を除く9地域で改善を予想しています。前期比売上額、同収益の予想判断D.I.も、それぞれ9.5、19.1とそれぞれ9.1、8.1ポイントの改善となっています。

建設業 主要判断D.I.の推移



## 不動産業

回答企業 868 企業 (回答率 86.8%)

### 景況

#### ～業況は3期連続の改善～

今期の判断D.I.は、業況が22.9、前期比1.8ポイント、前年同期比売上額判断D.I.が22.4、同2.9ポイント、同収益判断D.I.は22.6、同4.6ポイントマイナス幅が縮小しました。販売価格判断D.I.も35.9(前期は37.6)とマイナス幅が3期連続の縮小となりました。

### 規模・地域別の状況

#### ～1～4人規模を除き業況改善～

従業員規模別の業況判断D.I.は、1～4人以外すべての階層で改善し、特に40人以上では10.8と2001年1～3月期以来のプラスとなりました。

地域別の業況判断D.I.は、東海が20.6、四国が16.7と、ともに20ポイント程度の大幅な改善となりましたが、全11地域中6地域が悪化するなど、全体としてはまだ模様となりました。

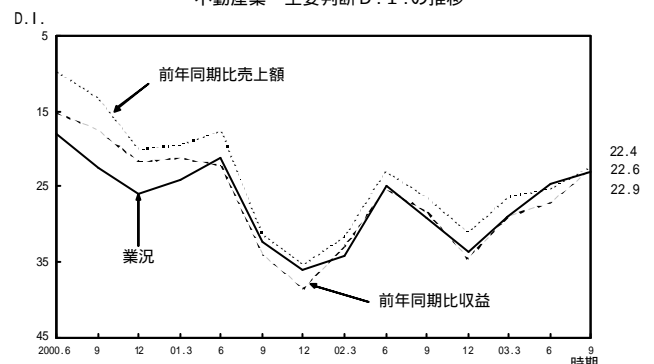
### 来期の見通し

#### ～業況は改善を予想～

来期の予想判断D.I.は業況が21.1、今期実績比1.8ポイントの改善を見込んでいます。前期比売上額は8.9、同収益は12.8と、これらも今期実績比6.5、6.6ポイントの改善となっています。

地域別の予想業況判断D.I.は、引き続きまだ模様ですが、首都圏が12.0、今期実績比7.1ポイントの改善となっているのが目立ちます。

不動産業 主要判断D.I.の推移



## 特別調査【地域金融機関との関係について】

### 9割が地域金融機関と10年超の長期継続取引

メインバンクとの取引期間については、「創業以来10年超」が77.5%と最も高く、「創業後変更したが10年超（13.2%）」を加えると、約9割の企業が10年超の長期継続取引をしているといえます。

メインバンクは、本調査を実施した信用金庫が多いと思われますが、その他で取引比重の大きいサブの金融機関としては、「地方銀行・第二地銀」が30.8%と多い結果となりました。ただ実際には、取引金融機関が「調査金庫のみ」が36.2%と最多であり、こうした結果は小規模企業ほど顕著となりました。「都市銀行」という回答は少ないものの、大規模層や首都圏・近畿で相対的に多くなりました。

### 長期継続取引のメリットは「経営内容の理解が深い」

地域金融機関と長期継続取引をするメリットは、「経営・事業内容への理解が深い」が58.4%と最も高い結果となりました。次いで、「迅速な融資」が23.4%で続いています。ただ、「経営者の資質を考慮した融資審査」や「事業の将来性を展望した融資審査」といった回答は合わせて1割程度と低く、今後の地域金融機関の機能強化にとって課題になる点といえるでしょう。

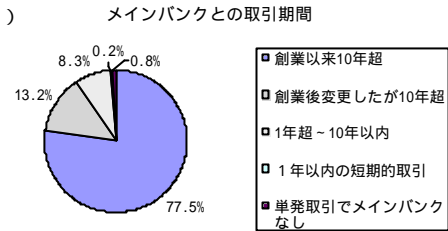
一方、デメリットとしては、「特になし」が過半数となったものの、「金利など取引条件を変更しにくい」という回答も約2割見られます。

### 渉外系の日常的訪問や高付加価値サービスに期待

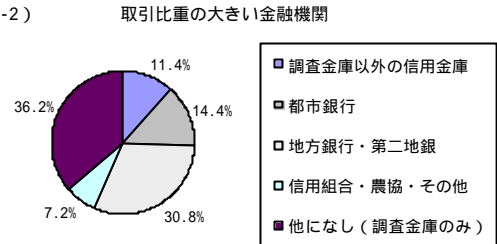
地域金融機関が顧客との信頼関係を構築する上で有効なチャネルは、「渉外系の日常的な訪問」が55.5%で最多となりました。一方、「インターネットなど非対面チャネル」という回答は極わずかとなり、地域金融機関の特徴といえる「フェイス・トゥ・フェイスの取引関係」が顧客から高く評価されています。

また、地域金融機関に求める金融サービス内容としては、「安定的な資金供給」が40.2%と最多となりました。小規模企業や小売・サービス業においては、「日常的訪問」による「集金・両替」という定型的サービスを求める回答も見られますが、総じて、「経営相談・情報提供（30.7%）」のような付加価値の高いサービスへの期待が高くなっています。

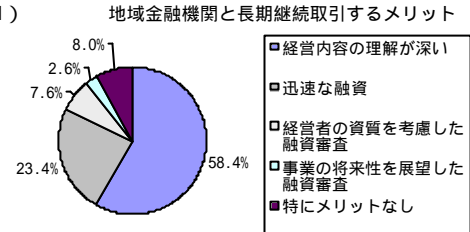
(図表1-1)



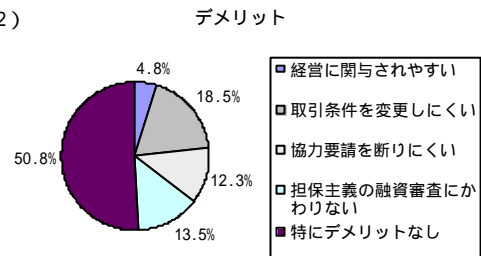
(図表1-2)



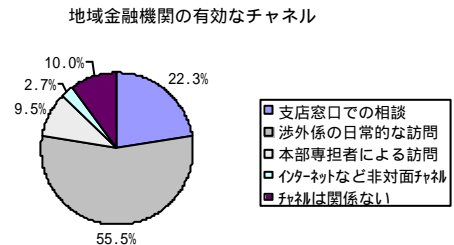
(図表2-1)



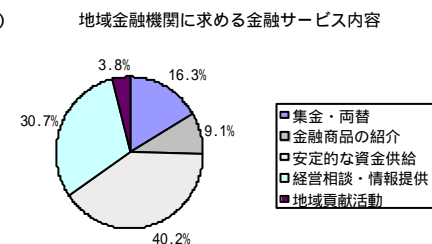
(図表2-2)



(図表3-1)



(図表3-2)



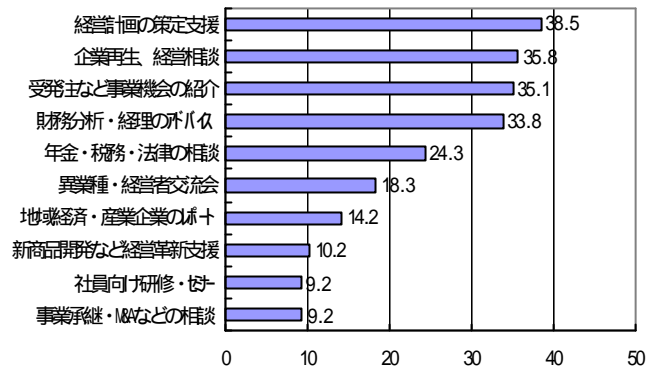
**経営計画策定や企業再生のニーズが高い**

地域金融機関に対して望む金融取引以外の支援サービスは、「経営計画・事業計画の策定支援」が38.5%で最多となりました。次いで僅差で、「企業再生、経営相談・コンサルティング(35.8%)」、「受発注など事業機会の紹介・斡旋(35.1%)」、「財務分析・経理面のアドバイス(33.8%)」が続いています。

「新製品・技術開発など経営革新支援」や「社員向け研修・セミナー」は総じてニーズが低いものの、従業員規模の大きな企業ほど要望は多くなっています。

以上のような中小企業が望む支援内容は、金融庁が提示した「リレーションシップバンキングの機能強化に向けたアクションプログラム」と符合しています。

(図表4) 地域金融機関に求める支援サービス (%)



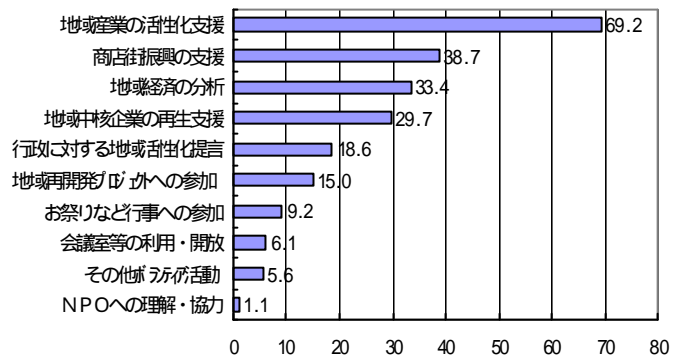
(注)複数回答

**地域産業の活性化支援に期待大**

地域金融機関に対して望む地域貢献活動は、「地域産業・地場産業の活性化支援」が69.2%と最も高い結果となりました。次いで、「商店街振興・街づくりへの支援(38.7%)」、「地域経済の分析(33.4%)」、「地域中核企業の再生支援(29.7%)」が続いています。いずれも地域金融機関の本業と関わりが深く、関与度も高い支援内容に期待が高いといえます。

一方、地域金融機関における従来の典型的な地域貢献活動といえる「お祭りなど行事への参加(9.2%)」、「会議室・駐車場などの利用・開放(6.1%)」、「その他ボランティア活動(5.6%)」といった経済活動以外の支援ニーズは総じて低い結果となりました。

(図表5) 地域金融機関に望む地域貢献活動 (%)



(注)複数回答

**調査員のコメントから**

- テレビ・ラジオ等の取材による宣伝効果から前年同月を上回る推移となっています。(旅館業 北海道)
- 排ガス規制強化による特需で機器メーカーの納入が間に合わないほど活況です。(自動車整備 福井県)
- 小型広告板の自社開発や優良掲出場所の確保で売上高、利益とも順調です。(屋外広告等製造 大阪府)
- 小ロットへの迅速対応と販売先の分散化によるリスク低減で収益は安定しています。(ネーム製造 福井県)

- 地元スーパーの地産地消商品による大手スーパーとの差別化ニーズが増えています。(味付け海苔製造 山口県)
- 大手自動車メーカーからのマイナスイオン関連製品の好調が続いています。(工業用ゴム製品製造 富山県)
- 不動産の環境が厳しい中、注力する顧客への相談対応が成約に結びついています。(不動産業 福井県)
- 長年の付き合いに加え、地主に対する不動産有効活用の積極提案が奏功しています。(不動産業 大阪府)

**調査の要領**

**全国中小企業景気動向調査**

- 1) 調査時点 2003年9月1日～9月5日
- 2) 調査方法 全国の信用金庫営業店の調査員による面談聞き取りによる感触調査
- 3) 分析方法 各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこの資料は作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。